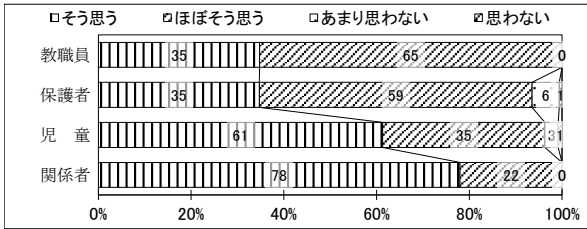


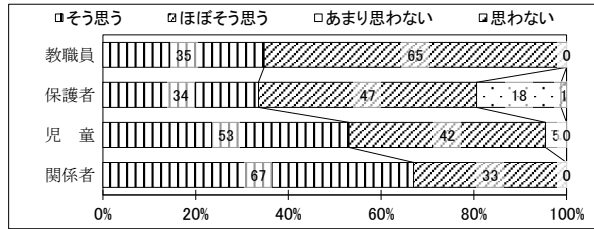
令和7年度 学校評価 アンケート結果(教職員・保護者・児童・関係者)

○ 教職員・保護者・児童

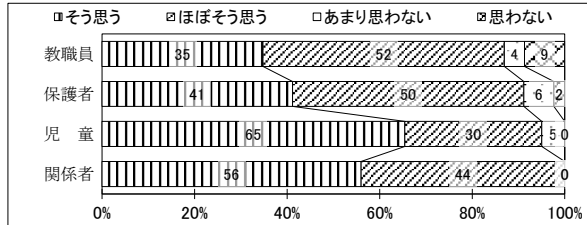
1 楽しく分かりやすい授業



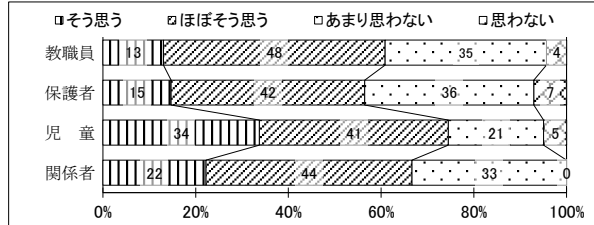
2 基礎学力身に付け



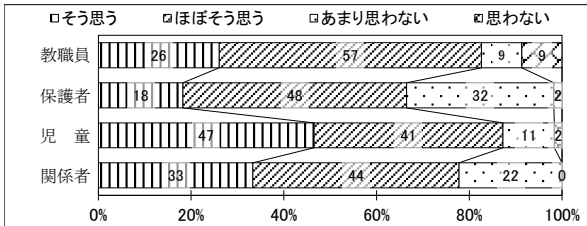
3 タブレット端末授業



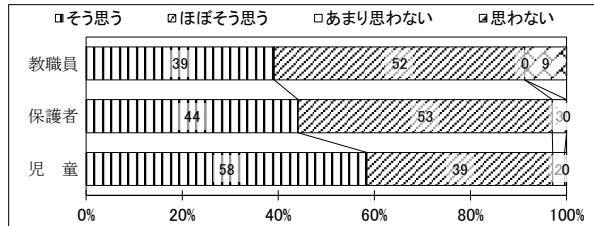
4 自主的な学習・読書の定着



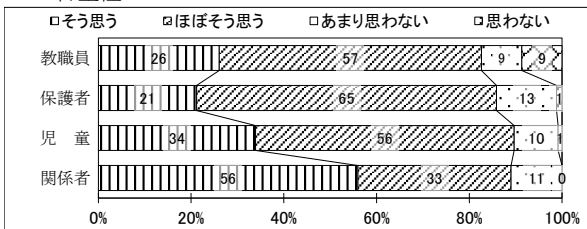
5 進んであいさつ



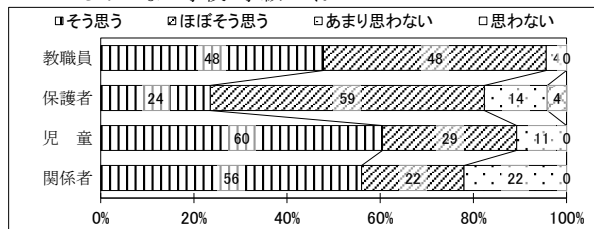
6 決まりや約束の順守



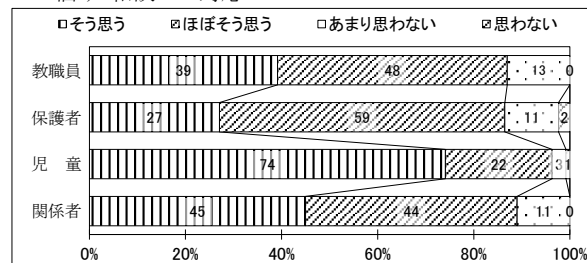
7 自主性



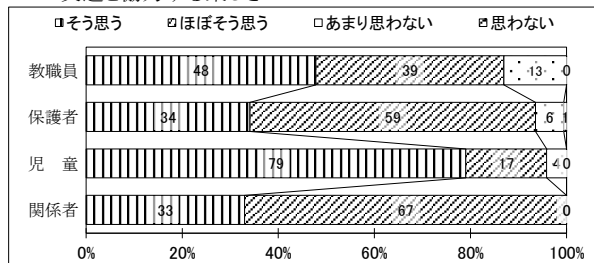
8 いじめのない学校・学級づくり



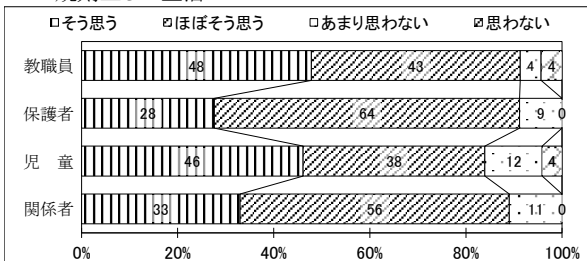
9 悩み・相談への対応



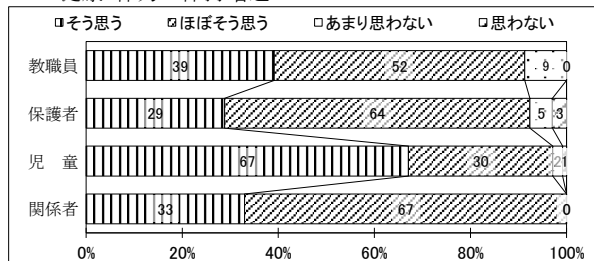
10 友達と協力する楽しさ



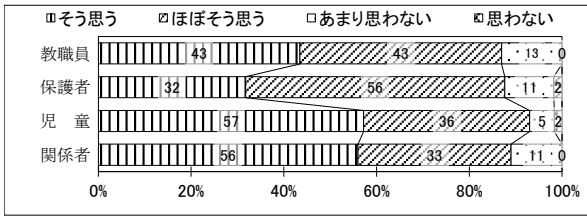
11 規則正しい生活



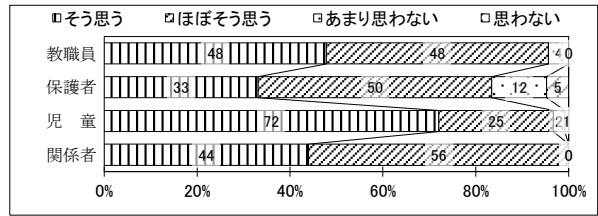
12 健康・体力の保持増進



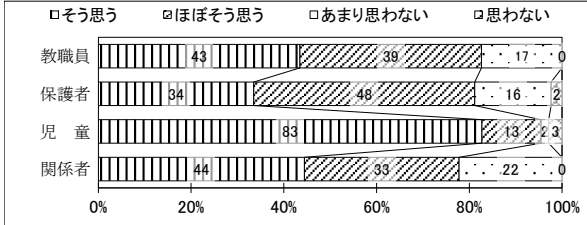
13 食指導・食生活改善



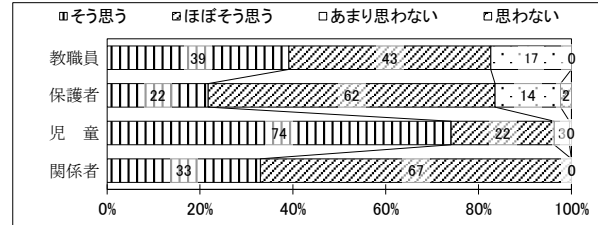
14 緊急時の対応



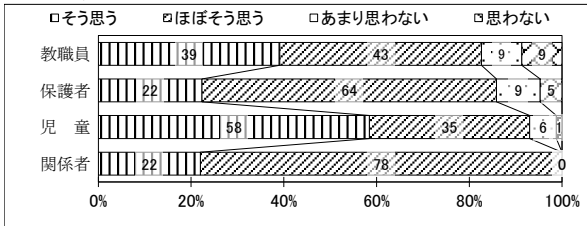
15 登下校の安全指導



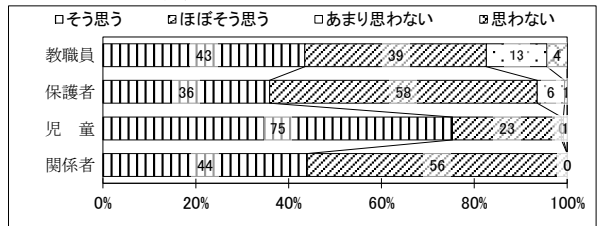
16 施設・設備の整備



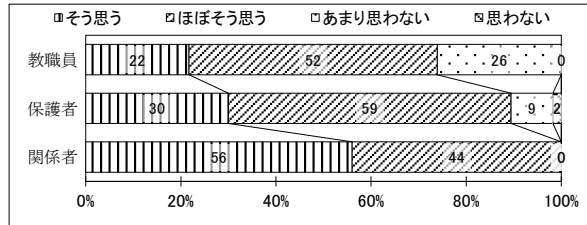
17 事故防止の心がけ



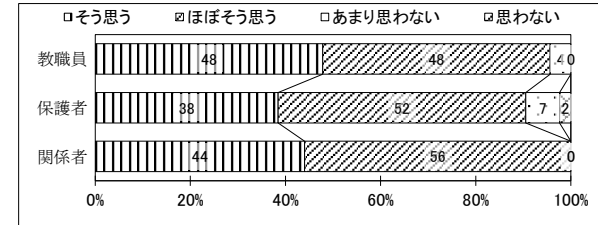
18 体験的な教育活動



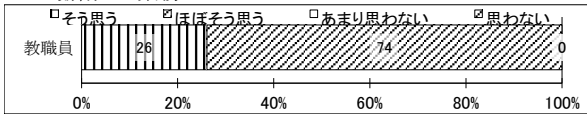
19 外部講師等の積極的な活用



20 適切な情報発信



21 協働して業務



考察と改善策

確かな学力

- ①楽しく分かりやすい授業の工夫については、児童は肯定的な認識が高かった。
- ②学習内容の基礎・基本の定着については、児童や職員に比べて保護者の肯定的な認識が低かった。
- ③今年度からの項目「学校でのタブレット端末の活用」においては、三者とも肯定的に認識している割合が高かった。自宅学習での活用を希望する保護者の声もあった。
- ④家庭における自主的な学習・読書習慣の定着については、児童の認識している割合が高かった。しかし、不十分と認識している割合は、他項目と比べると依然と高い。

→主体的対話的な取組を取り入れた授業を行ってきたことで、児童は分かりやすく楽しく学習活動ができた。しかし、習熟度に合わせた補習や家庭学習における復習や自主学習が行われなかったことで、定着が図れなかった。今後は、確かな学びにつながる手立てをさらに模索していく。

豊かな心

- ⑤進んで挨拶しているかは児童の割合は高いものの、不十分と認識している教職員や保護者の割合が高くなった。
- ⑥決まりの遵守は、三者とも認識が高くなった。児童は個人差が見られる。
- ⑦自ら判断し行動する力については、児童の肯定的な認識は高いが、不十分と認識している職員や保護者の割合がやや多かった。
- ⑧いじめへの対応については、児童や保護者の肯定的な認識がやや低かった。
- ⑨悩みや相談への対応については、定期的に教職員が意識して対応しているため、児童も話をしっかり聞いてくれると認識している。
- ⑩今年度からの項目「友達との協力する楽しさ」については、児童の肯定的な認識が高く、協力する楽しさを感じている。

→定期的なアンケートや面談など、児童一人一人の声を丁寧に聞き、子供の思いに寄り添った対応を行ってきた。こうした取組を自己肯定感につなげて、自らの判断で動くことができる児童をこれからも育成していく。

健やかな体

- ⑪規則正しい生活については、三者とも肯定的な認識をしている割合が高い。
- ⑫健康・体力の保持増進については、平均すると児童の肯定的な認識は高いが、個人差がある。
- ⑬食指導・食生活改善については、三者とも肯定的な認識が高い。

→全体的に規則正しい生活を送ることができている。規則正しい生活や食への指導は健康な体づくりへとつながっていると捉えて、今後も継続して指導を行っていく。

安心・安全

- ⑭緊急時の避難方法の周知については、平均すると三者の肯定的な認識が高いが、不十分と認識している保護者の割合が他項目と比べてやや多い。
- ⑮交通安全については、児童の肯定的な認識は高いが、不十分と認識している教職員や保護者の割合がやや高かった。
- ⑯施設・設備の整備については、児童の肯定的な認識は高いが、不十分と認識している教職員や保護者の割合もやや高かった。防犯対策の強化について保護者からの意見もあった。
- ⑰事故防止・安全への配慮については、三者とも肯定的な認識が高く、特に児童は高い。

→安全に関する児童の意識は高かった。また、環境整備や防犯対策については、保護者から心配の声もあり、学校におけるできる限りの対策を行い、今後も引き続き市当局に要望していく。

開かれた学校

- ⑱体験的な教育活動については、三者とも肯定的な認識が高い。特に、児童は高く、体験学習を楽しく感じている。
- ⑲外部講師等の積極的な活用については、教職員よりも保護者の方が、肯定的な認識が高かった。
- ⑳今年度からの項目「適切な情報発信」については、肯定的な認識が保護者よりも教職員の割合が低かった。
- ㉑教職員への質問項目「協働的な業務への取組」については、肯定的な認識が高かった。

→体験的な教育活動を通して、児童の学習意欲は高まり効果を上げることができた。今後は保護者への情報発信を強化しながら、継続して取り組んでいく。